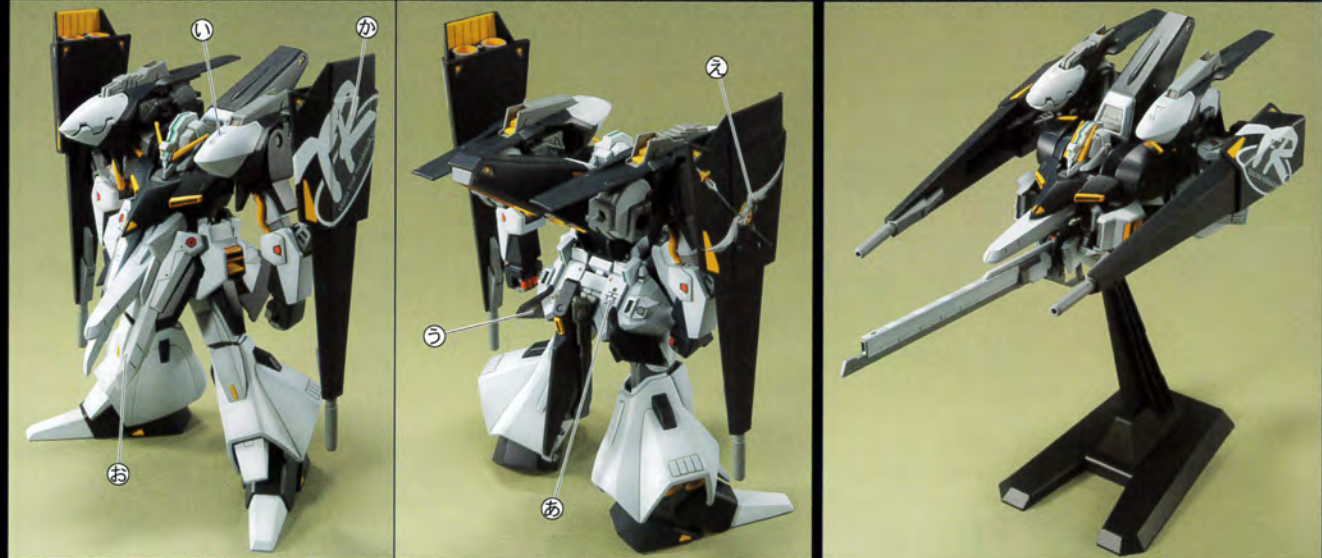


ORX-005 ギャプランTR-5 [フライラー]

「ORX-005 ギャプランTR-5(フライラー)」は、「月刊電撃ホビーマガジン」および「月刊電撃大王」(メディアワークス刊)に連載されている「機動戦士Zガンダム」のサイドストーリー「Advance of Z ~ティターンズの旗のもとに~」に登場する試作機の一つである。U.C.0083年12月、地球連邦軍は地球圏の治安維持とジオン公国軍残党の討伐を目的とする特殊部隊「ティターンズ」を設立した。そのティターンズ内に試作MSのテストを主任務とした部隊「ティターンズ・テスト・チーム」通称「T3部隊」がある。T3部隊は試作MSのデータ収集のための部隊であったが、0087年3月にティターンズと反地球連邦組織エゥーゴとの間に紛争が勃発。後に「グリプス戦役」と呼ばれるこの紛争が本格的な武力抗争へと発展してからはT3部隊も実戦部隊へと編入され、各種作戦へと投入されるようになった。フライラーは、元T3部隊のマーフィー小隊へと配備され、小隊長のウェス・マーフィー大尉の乗機となる。そして、0087年11月のコンバイトウ防衛戦などに参戦し、ティターンズ側の戦力の要として大いに活躍した。



MARKING (①~④はマーキングシールの記号です) ※余ったマーキングシールはお好みで自由にお貼りください。 マーキングシール MOBILE ARMOR モビルアーマー形態



マーキングデザイン：藤岡建機&ベッパーショップ

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
 ※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。 ●ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめてできません。

●本体等： ホワイト(50%) +明灰白色(50%)	●胸部等： コバルトブルー(50%) +インディブルー(30%) +ブラック(20%) +レッド(少量) +ホワイト(少量)	●インテーク等： オレンジイエロー(50%) +ホワイト(30%) +オレンジ(20%)	●武器等： ホワイト(50%) +ネービーブルー(30%) +ブラック(20%)	●センサー部： デイトナグリーン(60%) +ホワイト(40%)	●指先等： モンザレッド(100%)
----------------------------------	---	---	---	--	-----------------------

ORX-005 GAPLANT TR-5 [Hrairoo]

TITANS PROTOTYPE MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : ORX-005
 TOTAL HEIGHT : 25.2m
 WEIGHT : 50.8t
 TOTAL WEIGHT : 115.1t
 GENERATOR OUTPUT : 3040kw (+410kw)
 MATERIAL : GUNDALIUM ALLOY
 ARMAMENTS :
 BEAM CANNON
 BEAM SABER
 LONG BLADE RIFLE
 SPREAD BEAM
 SPECIAL EQUIPMENT :
 HRUDUDU II



1/144 SCALE
HG
 UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2006 MADE IN JAPAN

●写真の完成品は塗装してあります。

0148339



警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意 (ちゅうい)

●縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。●部品は番号を確かめ、きれいに切り取りましょう。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

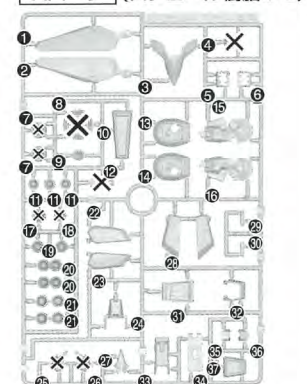
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

塗装をするところ	シールの番号	ティカールの番号	反対側に取り付けるパーツ	両側に同じパーツを取り付ける	向きに注意して取り付ける	ビスの締めすぎに注意
切り取る場所	部品を数値の個数作ります	先に組み立てます	後に組み立てます	数値に合わせて回転させます	どちらかを選んで取り付ける	反対側も同じように動かします

パーツリスト

(X印は使用しないパーツです。)

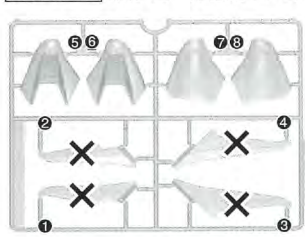
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



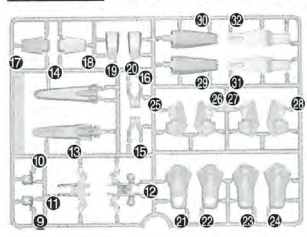
Cパーツ (x2) (スチロール樹脂: PS)



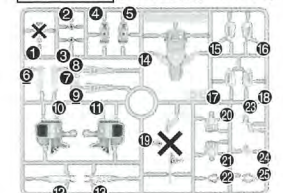
D1パーツ (スチロール樹脂: PS)



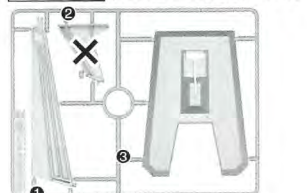
D2パーツ (スチロール樹脂: PS)



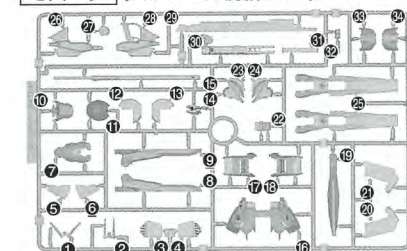
Eパーツ (ABS樹脂: ABS)



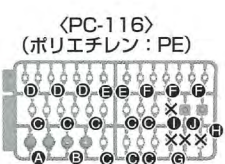
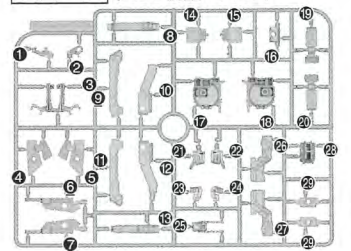
Fパーツ (スチロール樹脂: PS)



Gパーツ (スチロール樹脂: PS)



Hパーツ (ABS樹脂: ABS)



- シール.....1
- マーキングシール...1

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14 (シール) 4 つで作ったボディ

12 G20

13

9 つで作った腰部

15 (シール) E24 (先に貼る)

2 G23

1 A27 (シール)

PCF

16 (シール) G22

15 G24

G02 (先に貼る)

G01 (向きに注意)

(シール)

17 x2 2個作る

PCD D26 D25 D28 D27 PCJ

(両側に貼る) (シール) E8 (E9) C7

20 x2 2個作る

H29 C6 C2 C3

19 G7 G25 H18 H15

21 (先に組む)

PCG H18 G16 H26

(反対側に貼るシール)

(シール)

(シールは先に貼る)

22 H18 G10 G04

18 x2 2個作る

D9 (D10) D15 (D16)

19 x2 2個作る

PCE E18 E17 E16

PCD C11 C12

23 22 21 18

※□の部分に差し込みます。

24 H8 G25 H14 G33

25 (先に組む) (反対側に貼るシール) (シール) PCG H17 G12 H27

(シールは先に貼る)

26 24 25 18 17

A6 E21

※□の部分に差し込みます。

27 x2 2個作る

PCA C17 C16 PCG

(向きに注意) C18 D29 (D30) D31 (D32)

(シール) (反対側に貼るシール)

28 D8 D24 D21 PCG D17 D20 D5 D6

(後に組む)

E11 A20 A19

(向きに注意) E5 D20 (シール)

29 PCB D23 D22 PCG D18 D7 D6

(向きに注意) E4

(シール)

(後に組む) A20 A19

30 x2 2個作る

A21 (反対側に貼るシール) (反対側に貼るシール) C4 C10 PCG C1 C13 C14

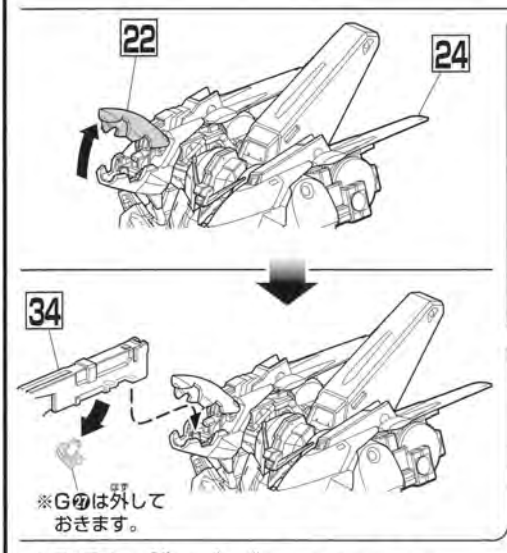
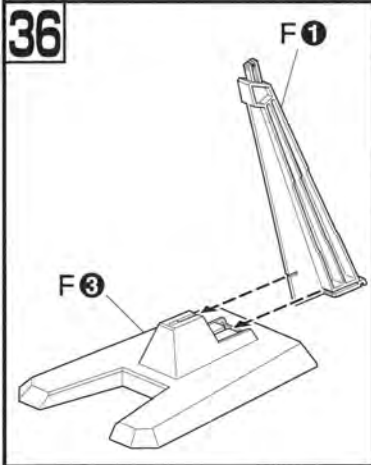
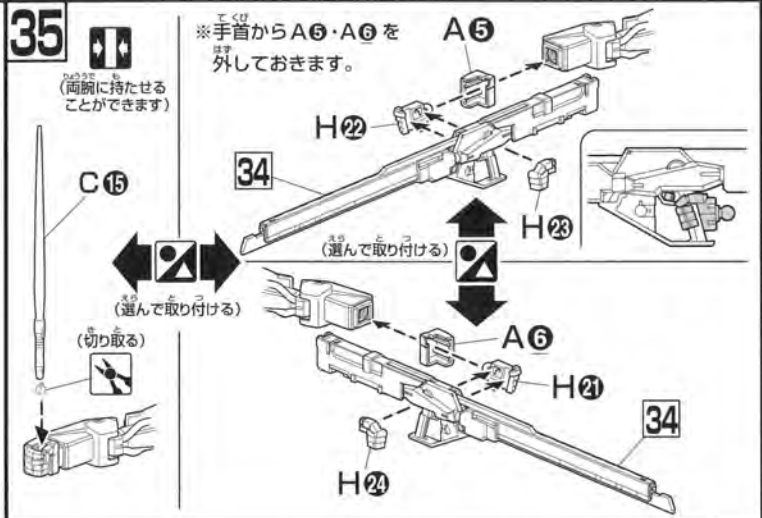
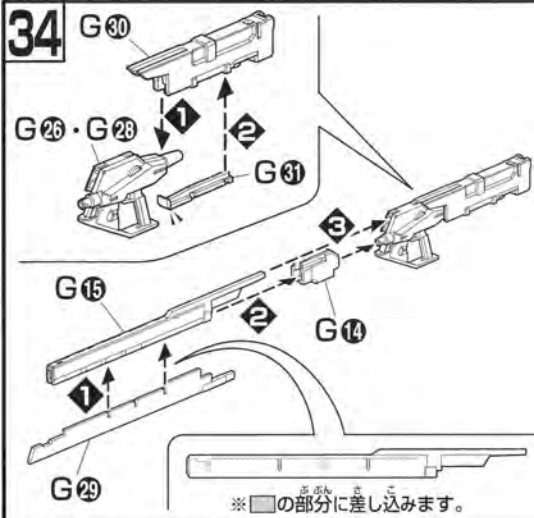
(シール) E6 (E7) E12 (E13) E2 (E3)

※奥までしっかりはめ込みます。

31 16 つで作った頭部 30 つで作ったバイナリー (両側取り付ける) 14 つで作った本体 23 つで作った右腕 26 つで作った左腕 28 つで作った右脚 29 つで作った左脚

32 バイナリー (両側動かす)

33



※22・24はお互いに差し替えることができます。

ORX-005 GAPLANT TR-5 [Hraiioo]

ギャプランTR-5 [フライラー]は、「弾道軌道による超音速爆撃」というコンセプトで開発されたTRシリーズの5番目の機体「ORX-005 ギャプランTR-5 [ファイバー]」のコアとなる可変MAの呼称である。フライラーは、TR-5 [ファイバー]から大気圏離脱・再突入用の強化パーツを外した状態であり、ベース機となった高高度迎撃も可能な可変MA「ORX-005 ギャプラン」をコンバイトウ技術本部が改修・改良したカスタム機である。可変MAとして高い機体ポテンシャルを秘めたギャプランを強化・改修したフライラーの性能は、通常のMSやMAのような戦闘級の機動兵器ではなく、一年戦争当時のMAビッグ・ザムや、0083年にガンダム開発計画で開発された戦術核弾頭装備のガンダム試作2号機のような、戦術級の戦闘力を持った機動兵器であった。そのため、与えられた機体カテゴリーが「領域支配MA (Area Dominance MA=エリア・ドミナンス・モビルアーマー)」である。地上・空中・宇宙と、あらゆる領域で戦場を支配する絶対的な戦闘力を持ち、可変機としてあらゆる条件下で最高のポテンシャル

ショルダー・ユニット

ショルダー・ユニットには、ショルダー・クロー・ユニット (右肩) とショルダー・スラスター・ユニット (左肩) の2種類が存在する。クロー・ユニットは武装保持用のハード・ポイント兼補助推進器として、スラスター・ユニットはジェネレーターを内蔵した補助推進器として機能する。



マルチ・アーム・ユニット

機体背部に装備されている多目的アーム・ユニット。ヘイズル改のサブ・アーム・ユニットに類する役割の装備である。

ビーム・キャノン

ム・バブル・シールド・バインダーに内蔵されているビーム・キャノン。ビーム発振器がバインダー内のジェネレーターに直接接続されている「直結型」のビーム砲のため、レスポンスと出力が非常に高い。



増加スカート・ユニット

姿勢制御バーニアやスラスターが内蔵された補助推進器ユニット。機体正面の増加スカート・ユニットには、スプレッド・ビームの発射口も装備されている。

ビーム・サーベル

サイドアーマー内にマウントされているビーム・サーベル。ロング・ブレード・ライフルが格闘戦用の装備としても使用できるため、ビーム・サーベルは補助的な格闘戦装備となっている。

SPEC

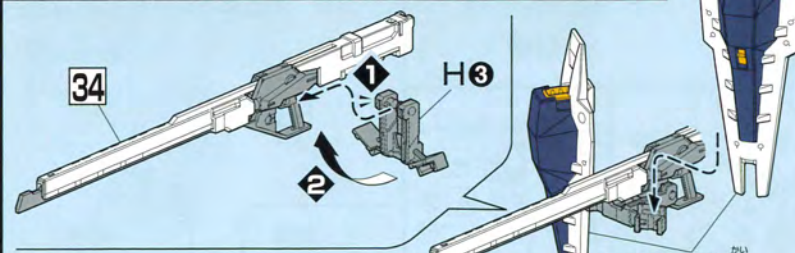
型式番号: ORX-005
 全高: 25.2m
 本体重量: 50.8t
 全備重量: 115.1t
 ジェネレーター出力: 3040kw (+410kw)
 装甲材質: ガンダリウム合金
 武装: ビーム・キャノン
 ビーム・サーベル
 ロング・ブレード・ライフル
 スプレッド・ビーム
 特殊装備: フルドロII

ロング・ブレード・ライフル

ビーム・ピストルに、ロング・ブレード・パレルとスタビライザー・ユニットを装着した長距離狙撃用のビーム・ライフル。長い銃身の下部には、ヒート・ブレードが装備されているため、格闘戦にも即応することができる。



「HGUC 056 ヘイズル改」、「HGUC 057 アドバンスド・ヘイズル」、「HGUC 069 ヘイズル2号機」に付属の「シールド・ブースター」を使用して「ダブル・シールド状態」を再現しよう!!

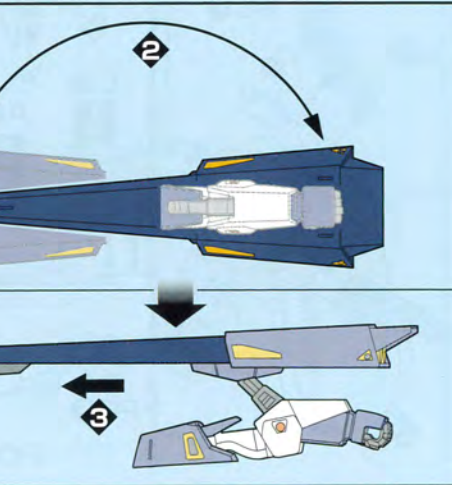
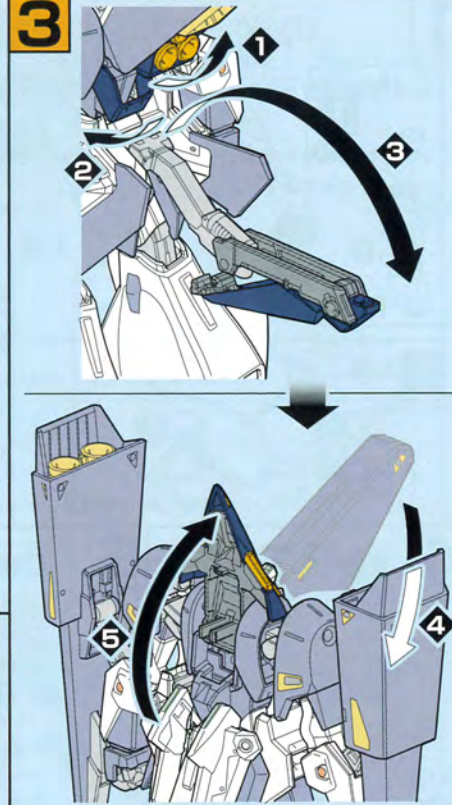
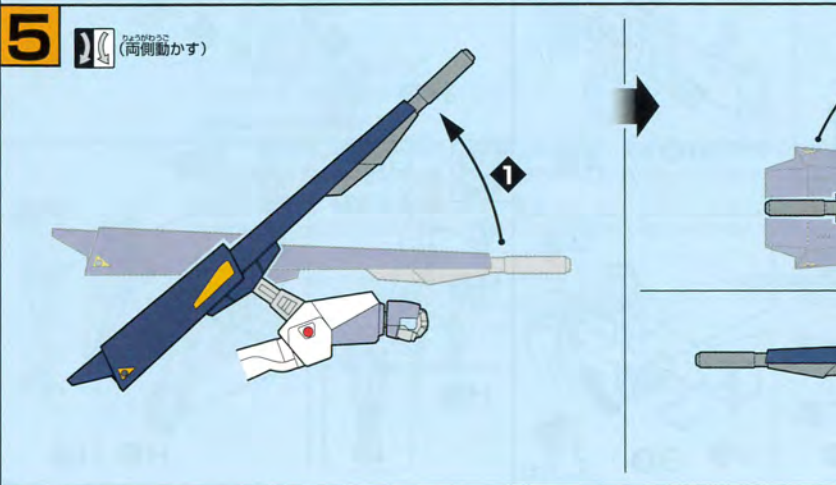
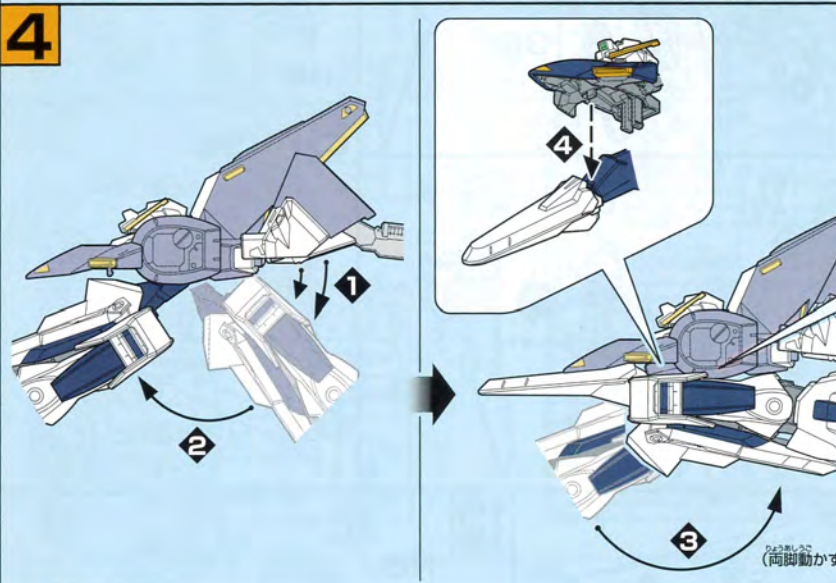
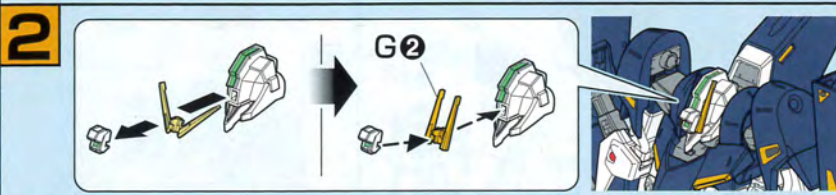
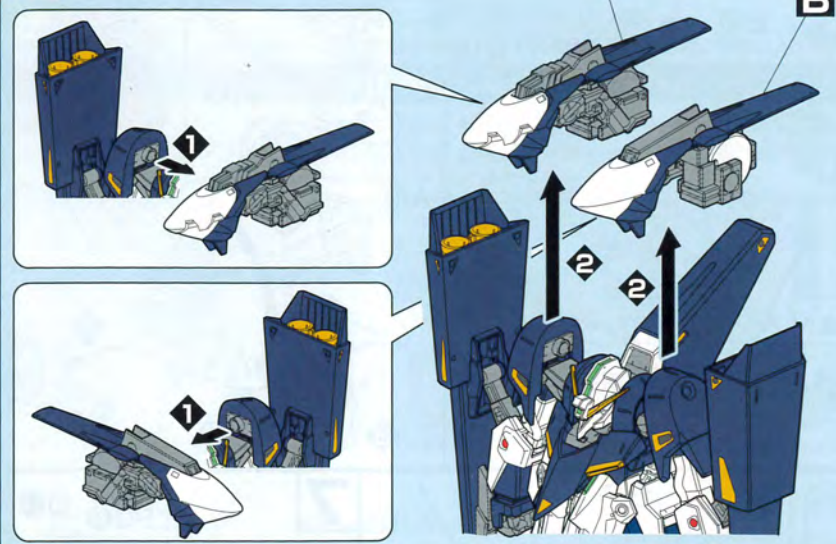


※写真は「HGUC 056 ヘイズル改」、「HGUC 057 アドバンスド・ヘイズル」、「HGUC 069 ヘイズル2号機」に付属の「シールド・ブースター」と本商品を組み合わせたものです。この商品には、「シールド・ブースター」は入っておりません。

※HGUCヘイズル改、アドバンスド・ヘイズル、ヘイズル2号機 (別売り) に付属のシールド・ブースター



1 ※台座から外しておきます。



6

※両腕を外し、
肩ジョイントを外します。

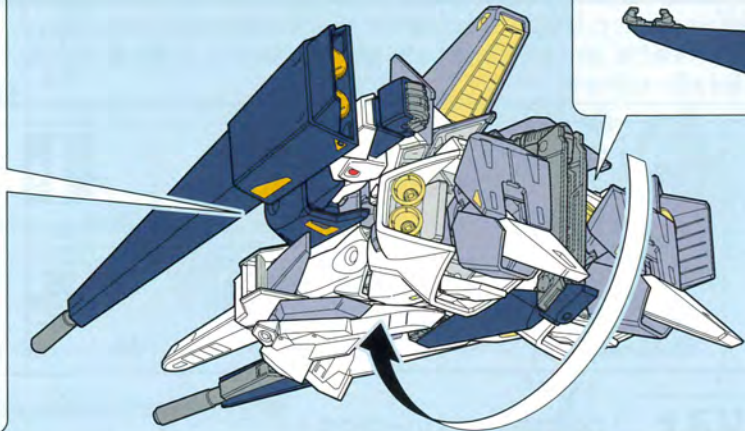


肩ジョイント

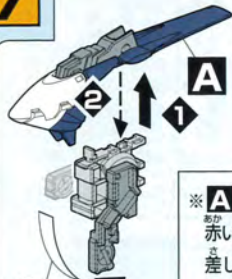
※両腕を下図のように
取り付けます。



※アームは図の
形状にします。



7



※Aは
赤い部分に
差し替えます。

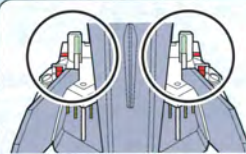
90°
(90°回す)



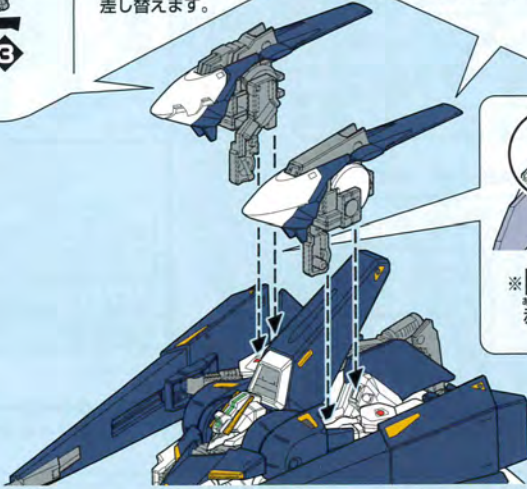
※Bは
赤い部分に
差し替えます。



90°
(90°回す)



※AとBは
赤い部分に差し込みます。



9



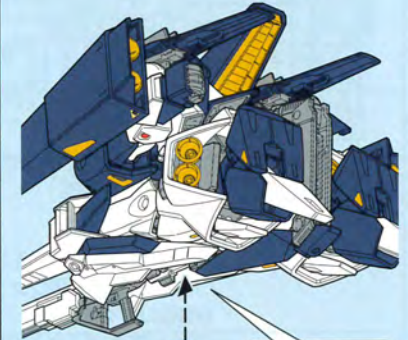
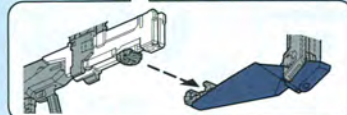
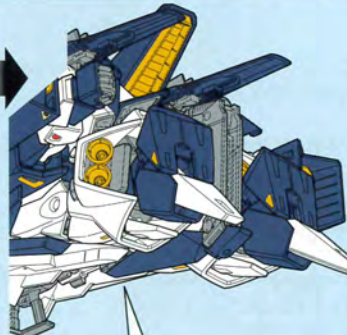
8



H25

34

※Gの付けて
おきます。



H28

